

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	6企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ あんえんたーていめんと		団体ウェブサイトURL
	株式会社アンエンターテイメント		<a href="https://www.wa-league.com/">https://www.wa-league.com/</a>
代表者職・氏名	代表取締役 高久照敏		
制作団体所在地	〒 104-0061	最寄り駅(バス停)	東銀座
	東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2階		
電話番号	050-3624-6767		
ふりがな 公演団体名	おおくらりゅう きょうげん		団体ウェブサイトURL
	大藏流狂言		<a href="https://www.kyogen.info/">https://www.kyogen.info/</a>
代表者職・氏名	能楽師大藏流狂言方 大藏基誠		
公演団体所在地	〒 104-0061	最寄り駅(バス停)	東銀座
	東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2階		
制作団体 設立年月	2002年10月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 高久照敏 経理担当 宮田幸子	当団体の活動に賛同し、伝統芸能に携わる芸術家および関係者 構成員の過半数以上の認可により加入	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	三隅雄亮
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	宮田幸子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	school.an.sai@gmail.com		

<p><b>制作団体沿革・主な受賞歴</b></p>	<p>平成14年10月 東京都新宿区に有限会社マスウェルス設立。(資本金300万円) 平成21年3月 株式会社アンエンターテイメントに名称変更。</p> <p>日本の伝統芸能(歌舞伎、能楽、邦楽)などの国内振興および国際交流の推進に寄与することを目的として設立。世界70カ国136都市で数々の伝統芸能の公演をプロデュース。 日本の伝統文化・芸術の国内振興および国際交流に寄与することを目的として活動。</p> <p>令和5年11月 日ペルー外交関係樹立150周年事業で日秘劇場において秋篠宮佳子内親王殿下ご臨席のペルーと日本の伝統楽器による演奏をプロデュース。</p> <p>国内の小・中・高校で日本の伝統芸能である能楽、狂言、和楽器等の公演・ワークショップを企画制作。</p>				
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>平成23年より学校等における公演実績多数。累計300公演以上</p> <p>(直近) 令和4～6年度 大蔵流子ども狂言「附子」「柿山伏」 「和太鼓グループ彩」楽しいが響きわたる芸術鑑賞会」 琉神「琉神ワークショップ掛川市・静岡市公演」 文化庁 令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」 全国20ヶ所(子供たちの伝統文化の体験事業等)</p>				
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>平成28年、二階堂養護学校(天理市)にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。 平成29年、東大寺整枝園(奈良市)にて狂言体験ワークショップを実施。 平成28年、七条養護学校(奈良市)・帯広盲学校(北海道帯広市)にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。</p> <p>令和2年度 文化芸術による子供育成事業～巡回公演事業～ 山梨県立やまびこ支援学校</p> <p>令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～ 茨城県立境特別支援学校</p> <p>令和5年度 文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～ 千葉県立松戸特別支援学校、神奈川県立麻生養護学校</p>				
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/qZJ2cQFjYR8">https://youtu.be/qZJ2cQFjYR8</a></p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 大藏流狂言 誠翔会 】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	狂言「柿山伏」声に出して演じてみよう！			
企画のねらい	小6 国語科にある「狂言 柿山伏」を題材に、現代を生きる自分と昔の人の話し方や生活の相違点、ものの見方や感じ方についての共通点を見いだすことで、昔の人のものの見方や感じ方を知ることを目指していきます。			
演目概要・演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「柿山伏」「太刀奪」とも所作・セリフ・擬音などの狂言の魅力が盛り込まれた入門編で想像力を働かせながら面白く楽しく鑑賞できる演目です。小学生低学年でも理解しやすく、小学生高学年から中学生とっては、日本文化の様式美や形式などを学ぶ上でも適切な演目です。</li> <li>●「菌(くさびら)」のキノコ役は平易な所作とコミカルな擬音で児童生徒も短時間で習得でき、楽しみながら舞台に参加していただけます</li> </ul>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>●狂言をみんなで演じよう！「菌(くさびら)」の共演 ワークショップでリハーサルをした代表の児童生徒(～10名程度)が舞台上に上がり、狂言「菌(くさびら)」のきのこの役を演じてもらい狂言師・先生たちと一緒に作品を作ります。</li> <li>●質問コーナー 児童生徒の様々な質問に狂言師がお答えします。客席に狂言師が降りてマイクを向けます。児童生徒・先生との距離がより近くなる時間です。装束を間近に見てもらいたいことも目的としています。</li> </ul>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	15名(舞台上で菌の発表をする生徒)	
		鑑賞人数目安	500名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>狂言「柿山伏」、「太刀奪」</p> <p>【プログラム構成】</p> <p>① 挨拶・「狂言ってなあに？」・「柿山伏」鑑賞ガイド(登場人物やあらすじ等を紹介)</p> <p>② 狂言「柿山伏」の上演</p> <p>③ 「太刀奪」鑑賞ガイド(登場人物やあらすじ等を紹介)</p> <p>④ 狂言「太刀奪」の上演</p> <p>⑤ クイズコーナー○</p> <p>⑥ 狂言をみんなで演じよう！「菌(くさびら)」の共演○</p> <p>⑦ 質問コーナー○</p> <p>⑧ 感想発表</p> <p>※○は児童・生徒の共演、参加、体験</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90～100 分</p>			
出演者	<p>能楽師狂言方大藏流</p> <p>大藏基誠※、大藏教義※ 大藏康誠、小椋直人、吉田信海、富田昌美、田中惇之、上田圭輔 上記メンバーのうち5名</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>大藏基誠：重要無形文化財保持者。25世大藏彌右衛門の次男。4歳8ヶ月で初舞台を踏み、今日までに「末広がりがり」「那須の語」「千歳」「三番三」「釣狐」「花子」を被く。</p> <p>大藏教義：重要無形文化財保持者。2世大藏吉次郎の長男。4才で『業平餅』の稚児役で初舞台を踏み、今日までに狂言における大曲・秘曲、「末広がりがり」「千歳」「那須」「三番三」「釣狐」を被く。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 5 名	運搬	積載量： 1 t	
スタッフ： 1 名	車長： 5 m			
合計： 6 名	台数： 1 台			

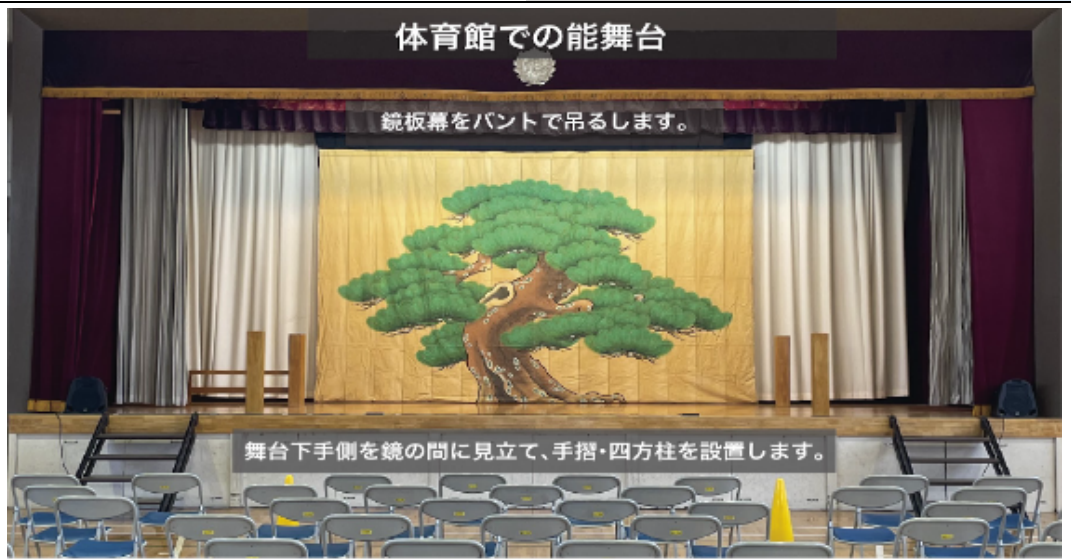
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		0	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:00～11:00	13:00～14:30	10	14:30～15:30	15時00分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認 します。(大幅な変更は認 められません)	6月	7月	8月	9月
	12日	12日	5日	12日
	10月	11月	12月	1月
	12日	12日	12日	12日
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	89日

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



音響:解説にはワイヤレスマイクを上演には補助的にバウンダリーマイクを使用します。  
舞台設置に必要な面積 幅10m×奥行き3m(以下でも対応可能)



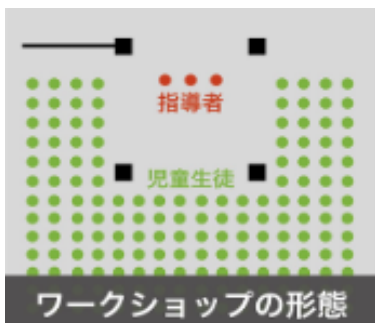
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況

別添	なし
----	----

【公演団体名 大藏流狂言 誠翔会 】

<p>ワークショップのねらい</p>	<p>「昔を知る、今を知る』 解説付きの鑑賞を通して、狂言への興味はもとより、約700年前の日本と現代との違い・共通点などを楽しく見つけて、歴史への興味、価値の多様性の発見につなげていただきたいと思います。</p> <p>「つくること、表現することを知る』 観賞するだけではなく、演じることの体験により、その過程で、作品作りの楽しさや大変さ、また皆で力を合わせ作り上げることの大切さを学ぶ機会にさせていただきたいと思います。</p> <p>「正しさ、美しさを知る』 指導者である狂言方と時間を共有する事で、日本の伝統文化が内包している様々な“価値”について、学ぶことができます。そしてプロフェッショナルリズムに触れることにより本物とはなにかを知ることができます。 また日本人が大切にしてきた礼儀作法や立ち居振る舞いなども身に付くきっかけにさせていただきたいと思います。</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>参加人数目安</p>	<p>100名</p>
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>①ご挨拶(5分) 指導者は紋付袴で体育館に集まった児童生徒の前に登場します。狂言に関して基本的な知識と日本の文化・伝統芸能について簡単に分かり易く説明します。</p> <p>②狂言「柿山伏」の解説と体験(30分) 稽古を始める前の挨拶(礼儀作法も含め)から基本姿勢と所作、動物の鳴き真似や擬音などの狂言ならではの表現法を解説と実演を交えて体験していただきます。 「柿山伏」の冒頭の次第と台詞(名乗り)をオウム返しで声に出して演じてもらいます。また山伏と畑主の掛け合いをチームに分かれて実際に動きを付けて演じます。</p> <p>④狂言「菌(くさびら)」のお稽古(10分) 本公演で共演する「菌(くさびら)」のきのこの精を全員で練習します。指導者より所作、発声など細部にわたって稽古をし、本公演での共演に臨んでいただきます。出演の代表児童生徒は複数のグループに分かれて練習します。</p> <p>標準:45～50分</p>		

その他ワークショップに  
関する特記事項等



体育館のフロアに四方柱・橋掛りで仮の能舞台をつくり実施します。児童生徒には回ようにフロアで指導者を中心に取り囲むよう座ります。また共演の稽古は能舞台内で行います。体操着など運動しやすい服装で参加していただきます。



「柿山伏」の教材

これは出羽の羽黒山より出たる  
駆出の山伏です

貝をも持たぬ山伏が  
貝をも持たぬ山伏が  
道々嘘を吹こうよ

はなはた柿山伏より

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 大蔵流狂言 誠翔会】
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>文部科学省の平成29・30・31年改訂の新しい学習指導要領には「伝統や文化に関する教育」の重視が明記されています。その上で本事業は、多くの児童生徒に学校教育の現場において、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を与える大変重要なプロジェクトです。</p> <p>次世代を担う子ども達には、なぜ私たちの生活に「伝統文化」や「芸術」が必要なのかを自分たちで考え、自分なりの答えを導き出して欲しいと考えております。伝統や文化を無限にある回答を自分に置き換えて考えることは、想像力を育み人間形成に大きな役割を果たします。</p> <p>その為大蔵流狂言では、児童生徒の目線に立ち、難解と思われがちな伝統芸能を解りやすく見ていただけるよう、構成・演出の工夫をしています。</p> <p>ワークショップ、本公演後は、伝統芸能は面白いものとの認識し、日本の伝統文化に関心を高め児童生徒の「知識、技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間力等」を育むことを目指し本事業に取り組みます。</p> <p>また狂言だけではなくの児童生徒の家庭やその地域独自に継承されている伝統的な事柄にも目を向けさせることにより、大切に継承し発展させる精神を育む効果を期待します。</p> <p>本事業では児童生徒の安全と幸福を最優先に考え、快適で安心して参加・鑑賞できるように心がけます。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p>大蔵流子ども狂言がこれまで実施してきた学校公演でのノウハウを活かし、専任の担当者が電話、メール等で事前ヒアリングをして実施校のご要望などを把握します。出演の主要メンバーと情報共有してワークショップ、本公演の準備をします。令和2,4,5年度の文化芸術による子供育成総合事業でのノウハウを活かし円滑な運営を実施します。</p> <p><b>【事前ヒアリング】</b> 各校の担当の先生へ電話連絡。学校側の希望や公演場所の状況・設備、搬入経路、周辺環境など確認してワークショップや本公演の準備を進めます。狂言「菌（くさびら）」に出演希望の児童生徒を選抜しておいてもらいます。</p> <p><b>【ワークショップ】</b> ワークショップでは、狂言「盆山」を解説と実演、児童生徒へのクイズを交えた鑑賞で初めて接する狂言に楽しみながら親しんでいただきます。</p> <p>次に座る・挨拶・立つ・運ぶ・止まる・座るといった基本動作や「盆山」にでてくる所作や感情表現を体験していただきます。</p> <p>このように狂言の魅力を知り、技能的な体験をすることで本公演への関心を高めめます。</p> <p>狂言「菌（くさびら）」に出演する代表児童生徒は、指導者より立居振舞、声の出し方など細部にわたって稽古をし、その後いくつかのグループに分かれ各指導者が小人数で舞台上の動きやきっかけをくりかえし指導し作品を完成させ本公演での共演に臨みます。</p> <p>子供たちとの共演は、彼らの創造性や想像力を引き出す素晴らしい機会です。楽しさを重視し、子供たちが表現できる環境を提供します。</p> <p>ワークショップ終了後に、なぜ私たちの生活に「伝統文化」や「芸術」が必要なのかを考えるワークシートを配布して記入してもらいます。</p> <p>→本公演前日までに先生がワークシートを回収し、団体まで送付していただきます。本公演実施にあたり担当の先生と最終調整します。</p>